

令和2年度積算線量測定結果

調査地点: 金武中城港

ポイント 番号	測定結果 (μ Gy / 91 日)			
	第1・四半期 (4月2日～7月1日)	第2・四半期 (7月1日～10月2日)	第3・四半期 (10月2日～1月5日)	第4・四半期 (月日～月日)
1	70 ± 1.1	70 ± 0.5	73 ± 0.0	±
2	120 ± 0.6	125 ± 1.1	127 ± 0.5	±
3	80 ± 0.8* ¹	— * ²	— * ²	±
4	77 ± 0.0	78 ± 0.5	81 ± 1.4	±
5	76 ± 0.0	77 ± 0.9	79 ± 0.0	±
6	100 ± 1.0	103 ± 0.0	105 ± 0.0	±
7	93 ± 0.6	96 ± 0.5	98 ± 0.5	±
8	97 ± 0.6	99 ± 0.5	102 ± 0.5	±
9	69 ± 0.0	70 ± 0.0	73 ± 0.5	±
10	97 ± 0.6	99 ± 0.5	103 ± 0.9	±
比較対照	45 ± 0.6 (3月27日～7月7日)	46 ± 0.8 (6月26日～10月6日)	48 ± 0.5 (9月28日～1月8日)	±

*1: 設置期間は4月2日～6月5日である。

*2: 局舎工事のため実施せず。

注) 1ポイント当り蛍光ガラス線量計3個を四半期毎(約3ヶ月間)収納箱に設置し、積算線量を測定した。測定結果は各ポイントにおける測定値の平均値とし、誤差は標準偏差を示した。

比較対照は宇宙線及びセルフドーズの寄与分を見積もるために蛍光ガラス線量計6個を日本分析センターの鉛容器内に保管し、同様に積算線量を測定した。なお、各ポイントの測定結果から比較対照の測定結果を減じることはしていない。